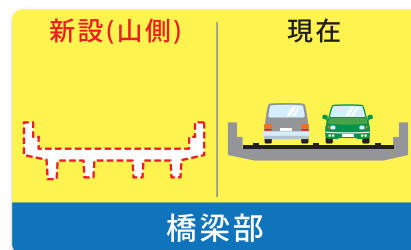
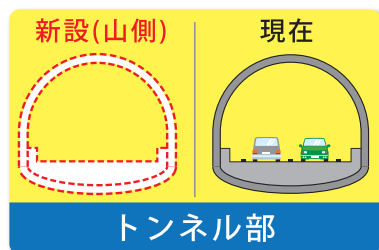
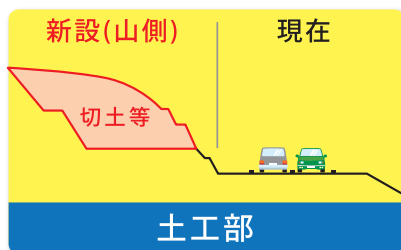


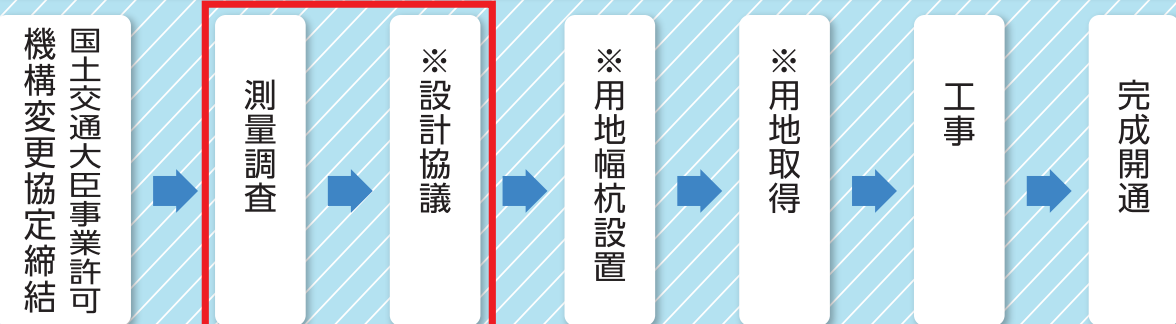
## 4車線化事業の概要紹介

広島工事事務所では、一般国道31号(広島呉道路)仁保JCT～呉IC間(L=15.9km)のうち、坂北IC～呉IC間(12.2km)の4車線化事業を担当しています。

当該事業は、供用中の道路を山側へ拡幅し、2車線から4車線に整備する事業です。この整備により、防災面では災害発生時における代替機能の強化や、地域経済・地域社会を支える道路ネットワークの信頼性向上により重要な役割を果たすと考えています。さらには、安全性や定時性の確保、産業・経済・観光の発展に寄与することが期待されます。



### 4車線化事業進捗状況



現在

※当該区間は拡幅2車線分の用地取得済。ただし、測量調査の結果によっては一部用地取得が必要になる場合があります。

## 期待される整備効果

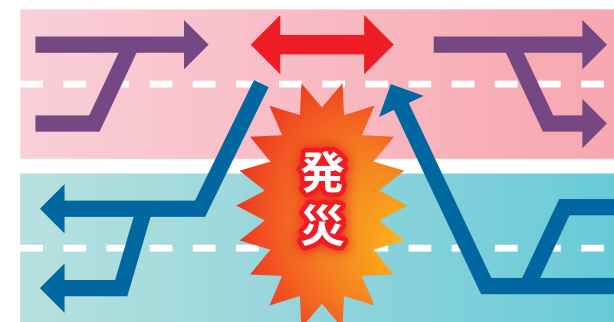
### 効果1 災害発生時における代替機能の強化

災害時には片側交互通行(通行例①)や対面通行(通行例②)を行うことにより、通行止め時間の短縮が可能となり、発災時における早期の交通確保が可能となります。



山陽道(高屋～西条)

片側交互通行イメージ

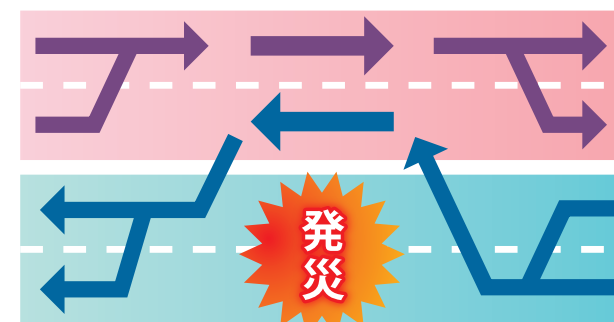


〈通行例① 片側交互通行〉



中国道(北房～新見)

対面通行イメージ



〈通行例② 対面通行〉

### 効果2 地域経済・地域社会を支える道路ネットワークの信頼性向上

4車線化に伴う交通容量の拡大による時間短縮や定時性の向上などにより、観光振興や地域経済、地域社会を支える幹線道路としての機能向上が期待されます。